

令和2年度 檜原市環境審議会会議録

日 時：令和2年11月10日（火）午前10時00分～11時45分

場 所：檜原市役所北館3階 大会議室

出席委員：久委員、北浦委員、槇村委員、奥野委員、紙本委員、当麻委員、浦澤委員

欠席委員：西村委員、和多田委員

事務局：中西部長、塩野副部長、

宮田課長、竹村課長補佐、浅田統括調整員、大塚主査

関係課：広瀬副部長（環境業務課長事務取扱）、高橋環境企画課長、吉川環境保全課長

傍聴人：なし

議 題：檜原市環境総合計画の進捗状況について

【事務局：司会】

本日は公私ともご多忙の中、本審議会にご出席賜りましてありがとうございます。檜原市環境衛生課長補佐の竹村でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

檜原市環境総合計画の策定以降、当審議会におきまして、委員の皆様に進捗状況を報告し、ご意見をいただきました。檜原市の環境行政へのお力添えをお願いいたします。本日の審議会は令和元年度実施分の施策に対する評価をいただく場となっておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

本日の審議会におきまして、西村委員、和多田委員から事前に欠席のご連絡をいただいております。檜原市環境審議会規則第4条第2項の規定により、本審議会は過半数の出席をいただいているので本審議会が成立することをご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本来ありましたら年度当初に開催すべきところをこのような時期になりましたことをお詫び申し上げます。

開催にあたりまして、お手元に置いております資料の確認をして頂きたいと思います。

（資料の確認）

皆様にご了承いただきたいことがございます。当審議会の議事録作成のためICレコーダーにて録音させていただくことをご了承ください。また、檜原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱により、審議会等の会議の内容を原則公開することとなっております。

なお、個人に関する情報や法人その他の団体で個人の競争上の地位、財産権その他正当な利益を害する恐れのある場合、素直な意見交換もしくは意思決定の中立性が損なわれる恐れのある場合は、皆様方に諮りまして非公開とする手続きをとりたいと思います。そのようなことをご了解願いまして、進めて参りたいと思いますので、皆様よろしくお願ひいたします。

また、記録用の写真を撮らせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

◎開会

【司会】

ただ今から令和2年度第1回樋原市環境審議会を開催させていただきます。

【司会】

それでは、委員のみなさまをご紹介させていただきます。

(委員紹介)

次に事務局を紹介させていただきます。

(事務局紹介)

樋原市環境審議会規則第4条には会長が審議会の議長となる記載がありますのでここからは環境審議会の進行を会長であります久委員に議事進行をお願いいたします。

【議長】

それでは、私の方より審議会を進めてまいりたいと思います。

議題は昨年度の環境総合計画の取り組みについてのご報告ですが、昨年度末あたりからコロナ禍で動きが出来なくなったこともありますので、そのあたりについては、皆様にはこのコロナ禍でもどのようにできるのかお知恵を拝借したいと思います。経済的にはコロナ禍で大きな損失を受けていますが、環境面では動きが止まっているというのもあって、良くなっているところもあり、見る方向によっても違ってくるとは思います。また、今年度以降どのように進めていけば良いのかという議論をしていきたいと思います。

次第に沿って進めていきたいと思いますが、昨年度の総合計画の進捗状況ということですが、今年度も中盤を超えていくので、今年度の個々の事業や今後の方向性等も事務局から説明してもらえたたらと思います。

【事務局】

■基本目標を実現するための主要施策の取組状況について（資料1・2・3・4）

【議長】

ありがとうございました。

資料の2で、今まで『A』『B』『C』『D』の数で評価をしてきましたが、昨年度に「もう少し分かりやすく」ということで、資料3、4のような重点項目と施策指標を樋原市の環境関連の施策をコンパクトにまとめました。今回は二段構えの報告になりましたが、どういう観点でも結構ですので、ご意見をお願いしたいと思います。また、資料2で『D』がいくつか残っているものがありますが、協働に関しての取り組みも『D』があります。そのあたりは次の【市民協働プ

プロジェクト】の取り組み状況でも協働のご意見を賜ればと思っておりますので、協働に関してはそこでも議論ができるかと思います。

それでは、ただいまのご報告について、ご意見等あればお願ひします。

【委員】

資料1と3についてコメントをしたいと思います。

まず資料1について、『A』と『B』の評価が多く、施策は順調に進行しており、評価できます。ただ、会長のご指摘のとおり、『D』がいくつかあります。イベントや環境教育など新型コロナの関係で実施されていないという理由であるのは仕方ないことですが、このコロナがいつ終息するか分からぬ時代に、withコロナでのイベントや環境教育のあり方を検討していく必要があると思います。オンラインというのも、一つの方法だと思います。

その他の『D』について、協働の話もありますが、追加の施策を講じれば進行する項目もあり、追加施策の検討も引き続き行っていただきたいと思います。

資料3の重点項目について、エネルギーの重点項目（118、124）について、現計画では『低炭素』になっていますが、国内外の気候変動の潮流は『低炭素』から『脱炭素』に移行しています。脱炭素社会の実現には、CO₂を出さない再生可能エネルギーおよび省エネ効果の高い高効率機器の更なる導入が必要であると思います。その中で、ここに示されているクリーンセンターからシルクの杜への熱供給およびバイオマス発電設備としての電力供給は素晴らしい取り組みなので、今後も熱、電気のエネルギー供給を進めていただきたいと思います。また、さらに近隣の他の施設への供給も検討してもらえるとありがたいと思います。

それと、創エネ、蓄エネ設備は高額であり、権原市エコライフハウス推進事業による導入支援は今後も継続していただきたいと思います。

【議長】

今年度以降のご意見も賜りましたので、事務局も参考にしていただけたらと思います。今のご意見につきまして、事務局の方から何かありましたら、お伝えください。

【事務局】

『withコロナ』ということで、環境教育の在り方について、例年は『河川をきれいにしよう』という内容で、小学校4年生を対象に出前授業を実施していました。今年度はコロナの影響で例年通りの出前授業は出来なくなってしまったのですが、授業内容をパワーポイントにまとめた資料や、授業で観せていましたDVDの貸し出しや水質を図るパックテストを、希望される小学校に提供して、今年度は対応をしました。それに加えまして、今後はZoomを使うなど、色々な手段を検討していきたいと思います。

【議長】

ありがとうございます。

大学も今年度に入ってからリモートで授業などもしておりますが、半年が経過して、我々も技術が蓄積されてきましたので、例えばリモートの授業を録画しておき、今度は YouTube などでオンデマンドで流していく…そうすると色々な方に観てもらえるということになります。そういう意味では、先ほど事務局からもありましたが、樺原市独自の教材などをビデオで作成し、オンデマンドで色々な方に観ていただくとか、そういう新たな取り組みなどを検討していただきたいと思います。ただし、全て市役所が取り組む必要はなく、市民団体等に協力いただきながら樺原市独自の環境教材を作ることも検討してもらいたいと思います。

私の方から一点お伺いしたいことがあります。先ほどご報告ありましたが、事務系の CO₂は減っているけど、事業系が減っていない。それに関しては、事業所の設備が古いから CO₂が減っていないのか、そのあたりの分析は事務局としては、どのように伝えていますか。

【事務局】

事業系の CO₂に関しましては、単純にごみの量が多いということになります。他市のごみを受け入れしておりますので、それを樺原市の方でカウントすることになりますので、それが一番の原因となっています。

【議長】

なぜそれを確認したかと言うと、芦屋市も市役所内の担当部署からどれだけの CO₂が発生しているか、毎年チェックをされています。そこでパターンとして分かってきたことが、古い設備を使っているところは、なかなか下がらなく新しい設備を導入すると CO₂の変化も非常に大きく削減になっています。そういったことが顕著に表れていますが、その次が問題で財政課が積極的に設備を新しく更新してくれるのかというと、そうではなく財政課の腰は重いというのが現状です。そのあたりがお金に換算するのか CO₂に換算するのか、予算を扱う側も積極的に設備更新を図っていく必要があると思うのでご検討いただきたいです。

庁舎は今度建て替えますが、出先についても設備更新が図られていくと、おそらく市役所側からの二酸化炭素の発生というのを減らすことができますので、そのあたりを財政課とうまく打ち合わせをして、出先機関の設備更新を積極的にしてもらえたたらと思います。そういったことを含めて事業系、事業所としてどうしていくのかと考えていって、温暖化対策に効く設備投資をしていくようアピールしてもらいたいと思います。

他いかがでしょうか。

【委員】

資料3の重点項目についてです。1ページ目の水質を守るということで、樺原らしい取り組みをされていて素晴らしいなと思います。

あとは、廃棄物と温暖化対策については重点項目になっていると思いますが、やはり設備だけでなく排出抑制という市民の意識が基本的には大事かなと思います。その辺が当然のことだから書かれていないのかと思いますが、きっちりと排出抑制すると同時に設備投資等で対策を図って

いくのが大事かなと思います。廃棄物でいうと、『3R』ということを書かれていますので、やはりリサイクルの前にリデュース・リユースというところで、排出抑制する『ゴミになるものを買わない』『物を大事に長く使う』という方が市の費用負担も減らせるというメリットがもっと見える化できると、市民も取り組みやすいと思います。

温暖化対策の方は、省エネ機器の導入とか再エネの組み合わせということで取り組みはされていますが、省エネ機器を導入して『省エネすることの方が快適に暮らせるよ』ということをもつとアピールできると、市民が取り組みやすいと思います。

【議長】

ありがとうございます。

先ほどの事業系の二酸化炭素の排出量の増えている原因が、『ゴミの処理量が増えているから』ということでありましたので、副会長がおっしゃったように『ゴミを減らすこと』で様々な影響がでてくると思います。そのあたりもまさしく協働で進めていただけたらと思います。

【委員】

重点項目の最後の項目についてですが、係長級を対象とした地球温暖化対策推進員を選定し所属内での啓発を実施しているのは、大変素晴らしいと思います。具体的にどのような形で啓発されているか、教えていただければ会社・企業の方でも参考にさせていただきたいと思いますので、差支えなければ内容の方を教えていただきたいです。

【事務局】

まず、係長級を各課の所属長の方から1人推進員に選定していただき、半年に1回、国に対しての報告用でもありますが、エネルギーの使用であるとかガソリンの使用であるとか紙の使用量であるとか、各課から報告いただいたデータを集計しております。その集計結果を元にして、係長級に関して研修会を開き、エネルギーに関して等の報告をしたり外部から講師を招いて、エネルギーに関して講義していただいたりしています。

【委員】

報告の内容は、全職員に掲示などされているのでしょうか。

【事務局】

はい、庁内のインフォメーションに掲示するようにしています。あと、その研修会でも報告するようにしています。

【委員】

ありがとうございます。

【議長】

『環境総合計画』は我々も一緒に計画を立てさせていただきましたが、やはりそれぞれの所属の中でも意識を高めていただきたいということで、担当の推進員さんを所属に置いていただいて、その所属では選定された推進員さんが責任を持って削減をしていただきたいという仕組みを取りさせていただきました。

他いかがでしょうか。

それではもう一つ、市民協働プロジェクトの取り組みについて報告いただいて、その後に意見交換できたらと思います。

【事務局】

■市民協働プロジェクトの取組状況について（資料5）

【議長】

ありがとうございました。

お隣の大和高田市内で河川の清掃活動を権原市民の方がされていたということで、これからは権原市内にも積極的に清掃活動をやっていただければ良いと思っております。

いかがでしょうか。市民協働プロジェクトをご紹介いただきましたが、何かご質問ご意見等ございましたら、よろしくお願ひします。

【委員】

市民協働プロジェクトに関しましては、コロナという影響もあってなかなか大規模には実施できないことがあるかと思いますが、やはり継続することが非常に重要だと思いますので、例え人数制限をして規模を縮小しても、毎年続けるということは重要なと考えます。

それと、大和高田市の『空間エンジェル』さんとの話がありましたけど、そうやって少しづつ手を繋いでいけるような、そういう横へ連携していくことが非常に重要なだなと思います。色々な人の繋がりというものは、知らないところで実は繋がっているものなので、網の目のように広がっていけば、より多くの市民の方にも参加していただけるのではないかと思います。

【議長】

ありがとうございます。

さきほど、講義などもリモートなどを使いながらという話もしましたが、逆に言うと、そのツールを使えばよりたくさんの方、あるいは遠くの方とも繋がるチャンスがでてきますので、そのあたりも含めて、またより幅を広げるような展開を考えていただけたらと思います。

【委員】

私も会長がおっしゃったようにほとんどが在宅でオンラインの講義ばかりです。それで身体も鈍るので、普段は奈良に住んでいましても、近所や市内県内をウロウロすることが山にはいきま

ですが、ほとんどありません。今は春からたくさん歩いておりまして、そうしますとこの市民協働プロジェクトというのは、どちらかというと、橿原にずっと住んでおられる方が対象じゃないかと思います。橿原から通勤されている方もいらっしゃいまして、普段あまりウロウロと近所や市内を歩かれている方も少ないとと思いますが、企業の方も在宅ワークが増えまして、違うライフスタイルになってきていると思います。そうしますと、近所等を歩いてみると、こんなに良いところがあったのかと思います。お寺を歩いてみたり、果ては天理桜井まで歩いてみたりしていますと、素晴らしい自然や素晴らしい歴史、素晴らしい散策ルートなど、いっぱいあります。そうしますと、今まで奈良は観光で来られる方が圧倒的だったと思いますが、住んでいる人が自分の地域の自然や歴史文化、景観など全部揃っているんですよね、奈良というところは。そういうことで今までの方々に動画や写真を市民から集めて、それを Zoom 等で配信する。そうすると、もちろん環境教育や環境保全になりますし、コロナが終息した後で、観光に来ていただくような PR にもなります。私もずっと環境教育や環境活動と言っていると、対象が狭くなってしまうので、もう少し一般の方が活動ができるような、ある意味方策と言いますか、違う人の集め方や情報発信の在り方みたいなものが、with コロナの時にできるのではないかと思います。そして、それがいずれ橿原の良い情報提供になって、来ていただくことに繋がると思います。少し違ったところと連携したり、色々な違う方法で環境に対する取り組みを実施する方法があると思います。ご活用いただければありがたいと思います。

【議長】

ありがとうございます。

橿原は、そういう意味では『万葉ウォーク』をすると沢山の方が参加されますね。歴史好きや文化好きの方とか、そういう方にプラス環境の意識を持っていただくようなプランができるのではないかと思います。それから先ほどのお話しを聞いて、今各省で VR を使って昔の風景を見られるようにしています。これだけ由緒ある橿原市ですから、そのあたりを文化財課等とタイアップしていただいて、タブレットをかざすと昔の藤原京が浮かび上がるとか、昔の風景が見られるなど、そういうことを取り入れながらプラス環境にも興味を持っていただけるような取り組みを考えていただけると、橿原らしい取り組みになるのではないかと期待しています。

【委員】

市民協働プロジェクトの活動は『エコライフかしら』を中心となっておりまして、昨年度その活動が評価されまして、奈良県の『きれいに暮らす奈良県スタイル』で表彰されました。それは良いことなんですが、私もエコライフかしらのメンバーですが、高齢化・参加団体の撤退・新たな団体の参加がないなど色々課題がありまして、いわゆる活性化が必要です。いかに参加メンバーが増やせるかということと、それが難しければ他団体との連携やコラボというものが重要ではないかなと思います。先ほどのお話でも出ましたが、環境とはちょっと違う、歩こう会や野鳥の会など、そういう方と一緒に街を歩きながらゴミ拾いをやるというような、そういう新たな活動を考えていき、自分たちの活動を発展させていけたらと思っております。

【議長】

ありがとうございます。

先ほど事務局のほうからも話がありましたように、若い方が見つかったということですが、おそらく色々なところで、活動されている若い方がおられると思いますが、お互い見えていないと思います。そういう状況を何とか乗り越えていけば、もっと若い方との連携も進んでいくと思います。ちなみに、樋原市総合計画の方もお手伝いをしておりまして、そちらでもお話をさせていただくと企画の担当の方が動かれて、若い方々で活動されている方を探していただいております。そうすると、何人も出て来られました。そして次は、その何人も出てきていただいた方と今まで活動を担っていただいた方とお見合いをする場所を作っていただいて、さらに繋げていただけるような工夫をしていただけだと、若い方も一緒に取り組めるようになるのではないかと、期待しておりますので、ご検討いただけたらと思います。

【委員】

色々とお話が出来まして、思い付きみたいですが、私もいくつかの大学と関係しております。地域と大学や学校、樋原市にいくつ大学や高校や専門学校があるのか分かりませんが、今どこの大学でも地域連携というものが非常に大きなテーマとなっています。総合計画の話もありましたが、『ひと・まち・創生』というのも、地域の学生とコラボをして色々なことをやったりしています。樋原市にはきっとたくさんの学校があると思います。学生達にとっても、現実の中でインターンだけではなく、そういったところで色々考えさせていただいて行動するということも重要な柱になっているので、ぜひそういったこともされたらどうかなと思いました。

【議長】

ありがとうございます。

この近くでは県立医大がありますけど、医学部の学生ではありますが、八木札ノ辻の歴史的な街づくりと一緒にやってくださっている学生さんもいるので、そういう意味では分野に関わらず、色々協力してもらえるのではないかと思います。

【委員】

私はエコライフかしらの一員ですが、先ほどもお話が出来ましたが、我々の団体も高齢化てきており、従来やってきた大型のイベント活動がやりにくくなっています。環境や体力的な問題もありますが。ただ、これを機会に今まで関わってきてなかった団体さんと一緒に活動広げるような横の連携を、新たな活動の展開の仕方ということも考えていかないといけないなと思います。

それから、温暖化対策の主となる温室効果ガスの排出量についてですが、これについては一般的な市民としてどれだけ意識を持って活動できるかということが大事だと常々思っております。今回、レジ袋有料化の国の制度が始まり取り組まれていますが、例えば一樋原市民として、従来と

は違った日常生活を送ることになったわけで、その効果が『不便になった』ということだけではなく、その結果がどうなったのかということを、できれば統計的な指標を持って市民に知らせるような方法はないのかなど。つまり『有料化に伴って不便にはなったけど、これだけ温暖化対策に推進された』ということが、結果として市民に伝われば、不便になっただけでなく、世界で言われている温暖化対策に貢献しているという意識が芽生えて、より環境問題に関する意識が普遍的に広がってくれればと思います。

事業系の温室効果ガス排出量で他市のゴミを受け入れたということによる増加ということは分かりましたが、それであれば他市のゴミをどれだけ受け入れて、自分たちのゴミはどうなっていたのか。つまり樺原市民としては減らしたのかということが分かれば。他市のゴミが無ければどうだったのかなど、そういう効果を知らしめることがないものかと思います。そうすればゴミの減量化についても個人も認識できるし、環境問題全体の意識も市民は向上すると思われます。難しいかと思われますが、そういった広報活動等も検討していただけたらと思います。

【事務局】

今委員からお話をありました、レジ袋についてですが、環境衛生課では指定袋の制作や販売業者の管理等をしておりまして、その中で大手スーパーや百貨店、コンビニやドラッグストア 90 件に対してレジ袋に関してのアンケートを実施しました。有料化導入と昨年度との比較などを聞いたアンケートですが、回答が 14 件でした。尚且つ、枚数管理はしてなく金額管理されている業者さんが多くかったです。また、昨年度と比較もできないということでした。継続していくてどのくらいの効果が出ているのかということを見ていく必要があると考えています。

【議長】

ゴミはなかなか計測が難しいですね。ざっくりと、運び込まれた量で計算しちゃうので、先ほどのお話をやろうとすると、色々な方々のご協力を得ないといけないのですが、何か良い方法があれば私も含め事務局と一緒に考えさせていただけたらと思います。

参考になるか分かりませんが、30 年近く前になりますが、三田に兵庫県立の『人と自然の博物館』を造った時に、環境問題を取り上げようとなりまして、三田市の方々が一週間でどれだけのゴミを出しているかという展示をさせていただきました。今もその展示はありますが、その展示をするにあたって、どういう方法をしたかというと、7 件ほどのご家庭にご協力いただき、一週間のゴミを全て記録させていただきました。それに基づき、一週間のゴミの量という展示をさせていただきました。そういう非常にきめ細やかなご協力をいただくと、ゴミの成分まで分かつてきます。

最近一緒にしている事例でいうと、大阪の天神祭りの『ゴミゼロ大作戦』をしていて、かなりゴミの量が減ってきました。その時も当初から大学生も入ってもらって、出てきたゴミの成分で全部仕分けをして、どのゴミが多いのかということをチェックし、どこからどのように減らしていくべきかということも取り組んでいます。そのように科学や人手を掛けて成分を分析していくと色々なことが分かりますが、なかなかそうでないとゴミの成分を把握して削減をしていく

というのは、ご協力いただくという面でも少し難しいと思います。ちなみに今回は、家に籠る時間が長くなった分、家庭から出てくるゴミの発生量は多くなっていると思われます。今まで飲食店に食べに行き、事業系のゴミで出ていたものが家庭のゴミに回っていってしまうおそれがあり、下手をすると家庭のゴミが増えてしまうという危険性があるので、そのあたりは慎重に我々も見ていかないといけないと思います。

あとは先ほどのお話を聞いていて、新しい暮らし方、所謂どういう暮らしができるか、どういう暮らしをしていただきたいかということが出てきています。それが『こういう側面で環境に役に立っている』というような環境の面からみたニューノーマルの暮らし方の PR、パンフレットとかそういうことができると良いなと思いましたので、ご検討いただければと思います。

【委員】

ゴミに関してですが、ふれあい収集というもので、高齢者の安否確認やごみ収集。高齢になればなるほどきちんと分別も難しくなってきていると聞いていますので、こういう取り組みは良いなと思いました。ただ、それが維持できないおそれがあるという課題が書かれているので、やはり行政だけがやるのではなくて、地域の方と協働というできるだけ小さいコミュニティでそれが回るような仕組み、町内会とか地域自治協議会などの協力を得ながら、そういう仕組みができたらなと思います。先ほども若いお母さん方の話もありましたが、生駒市ではゴミステというような取り組みがされていると聞きました。詳しくは分からぬですが、町内会でゴミを捨てに来た時にゴミステーションで交流ができるような場について、お茶が飲めたりお話ができたり、ちょっとしたバザーができたり、そういうことをして楽しくゴミを分別したり減らしたりされているということを聞きましたので、先ほどの若いお母さん達が子育てのお悩み相談とか自分たちで作ったものを売ったりとか、ゴミを捨てに行くと楽しいことがあって、尚且つ高齢者の安否確認ができるような取り組みができると、行政だけでは維持できないという課題が少しでも解消できるのではないかと思います。

あと、焼却炉での廃棄物発電に関してですが、ゴミを減らすというのが一番の基本にならないといけないと思いました、しかし廃棄物発電をするためには、ゴミがないと出来ないのでそのためにゴミをどんどん投下しないといけない、他市からのゴミを受け入れなければならないということになるのではないかと思うんです。他市のゴミを集めることで、それを有効に活用するということは、その取り組みはそれで良いとは思いますが、廃棄物発電が目的になってしまわないように、削減を基本にというところは押さえていただきたいと思います。

【議長】

生駒のゴミステは萩の台で試験的に取り組みが始まっています。たまたまその地域には若手ですごく頑張っている方がいっぱい住んでいらっしゃいます。その方々が町会と一緒に動いていたので、面白いのが出来上がってきたということです。NASO のメンバーでもある『もったいない食器市』をされている方がその地域の住民ですし、さらには最近では『公園にいこーえん』と言って、子育てママさん達が集まって『みんなで公園を使い倒そうよ』という動きをされていま

す。精力的に活動されている若いママさんが出て来られましたので、その方々がうまく繋がっています。そういうことが、権原市でも出来上がってくると良いなと思います。期待しておりますので、生駒の事例も参考にしながら、どんな取り組みができるかを考えていただけたらと思います。

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、様々なご意見やお知恵をいただきましたので、また事務局で検討いただき協働で、先ほどからも言ってますが、市役所だけで頑張るのではなく様々な方のお知恵等を借りながら進めていただきたいと思います。

それでは以上、予定の案件を終了させていただきましたが、せっかくの機会ですので、その他で何かありますか。

【委員】

お手元に小さいパンフレット『匠の輪 それから』というものを置かせていただいておりますが、7年目になりますが、環境保全団体の交流ということで開催させていただいております。環境団体と言ひながら環境団体だけでなく、結果としてその取り組みが環境に繋がっているというようなところも色々掘り起こして、ネットワークを広げていただきたいということでたくさんの団体に参加していただいている。今年も29団体の方に展示していただけることになっております。また、今年はNASOの設立20周年ということで記念講演として国立環境研究所の江守正多さんにもご講演いただくことになっていますので、もしよろしければ参加いただければと思います。ただ、コロナ禍ですので、開催がどうなるかというのは直前にならないと分からないところもあります。オンラインも併用開催ということもありますので、ご参加ご協力の程よろしくお願いします。

【議長】

ありがとうございます。

このように団体さんのPRでもよろしいですので、何かございますか。

【委員】

現行の環境総合計画が2021年度までなので、新しい計画をぼちぼち考えていかないといけないと思います。それは「環境総合計画策定委員会」で議論されると理解していますが、その策定委員会と環境審議会の役割分担と、それと後1年半しかないので、スケジュールみたいなのを次回の審議会で示していただければ、こちらの立ち位置や役割について理解ができると思います。可能であれば、次回の環境審議会でいつまでに何をするのかというようなスケジュールを出していただきたいです。

【議長】

次回にスケジュールを出していただきたいということなので、お願いします。現状、何か決ま

つてのことなどありましたら、ご報告ください。

【事務局】

現状では、まだ何も進められていないということです。まずは部内でそれぞれの課から代表者を集めて、検討グループを作ろうかというの今年度でもできるかと思います。

【議長】

ということなので、次回は市役所内でどうして次に我々はどこでどうするか、どう進めていくかというような全体図と、スケジュールを教えていただければというご要望がありましたので、よろしくお願ひします。

それでは、今日は様々なご意見が出ましたので、またそれを踏まえまして今年度これからの方策等にも参考にしていただけたらと思います。では、本日の審議をこれにて終了させていただきます。次回につきましては、事務局と相談の上、できる限り早めに開催したいと思います。どうもありがとうございました。

【司会】

長時間にわたりありがとうございました。それでは、中西環境づくり部長からご挨拶させていただきたいと思います。

【事務局】

失礼します。閉会に際しまして、一言御礼申し上げたいと思います。委員皆様におかれましては、深長なるご審議本当にありがとうございました。委員の皆様から多くのご指摘ご意見を頂戴しました。中でも、このコロナの中でできること、見直しの契機になるのではないかというご意見を賜っております。教育の場面から申し上げますと、檍原市の学校ではパソコンが子ども達一人ひとりに配布されるということになりました。今日多くの意見として出ましたが、情報の出し方として、そのパソコンをうまく活用して子ども達の教育に繋げるということも十分に考えていく必要があります。また、市民協働プロジェクトの関係では、多くの『繋がる』というキーワードが出たと思うますが、ネットを利用したこと、横の繋がりの大切さなど、情報発信の在り方など多くのご意見をいただきました。学校関係、大学もございますので学校関係との連携等々多くのご意見をいただきました。そして、現在の環境総合計画におきましては、目標達成はまだ道半ばな状態でございますので、今後も積極的に取り組んでいく必要があると考えております。また、今日の審議でも出した温室効果ガスの関係で、総理大臣の所信表明演説で2050年で温室効果ガス排出量実質0にすると、カーボンニュートラル、脱炭素社会実現を目指すと声明が出されました。産業界も成長戦略の好機と捉えているという情報もございますので、国の方から詳細はまた今後明らかになってくると思いますが、次期の環境総合計画への影響等については注視してまいりたいと考えております。今日ご意見いただきました環境総合計画はこれは令和4年度までとなっておりますので、当然そろそろというタイミングで、実際のスケジュールやこの審議会との

関係を明確にしてほしいというご意見を頂戴いたしましたので、その辺につきましても、具体的な計画作りに着手していくと考えております。そして次期の環境総合計画につきましては、多くの委員さんのご意見を賜りながら、より良いもの実行性のあるものを作っていくたいと考えておりますので、今後ともなにとぞよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

【司会】

それでは、樋原市環境審議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。